建築物省エネルギー性能表示制度
BELS 申請書作成ツール
1.0

操作マニュアル

2026 年 8 月

日本ERI株式会社

１.１ プログラムの概要

本プログラムは、日本 ERI 株式会社（以下、日本 ERI）に建築物省エネルギー性能表示制度（以下、BELS）の評価を申請するための「BELS に係る評価申請書」および「設計内容（現況）説明書」、「BELS に係る評価物件掲載承諾書」、「プレート・シール申込書」等を作成するプログラムです。

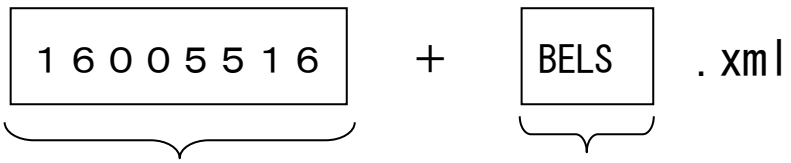
本プログラムでは、各申請に係る入力項目内容（申請者等の概要）については、入力した内容の反映を利用者が適宜判断してコピーボタンにより情報を引用することで、同じ内容の重複入力が無いように簡略化し入力の手間を省きます。
申請者等の概要では申請者等の情報をマスター化することにより、頻繁に使われる情報を簡単に引用できるようにしました。このマスター化された情報は、複数ユーザーが共有利用可能となるよう保存先の指定が個々の利用環境で設定できるようになっています。

また、弊社よりご提供している、建築確認申請書作成ツール、住宅性能評価申請書作成ツール（戸建住宅等）にて、申請時に作成した物件情報（申請時に作成した申請提出用ファイル）を同じ申請物件情報として利用することが可能なように、読み込み機能が施されています。

各書式の印刷については、PDF ファイルの作成を行い PDF ビューアーソフトにて印刷をします。
PDF ビューアーソフトをインストールしてご利用ください。
作成された PDF ファイルは、電子申請審査向けの申請ファイルとしても利用が可能です。

日本 ERI に申請の際には、本プログラムで作成した出力帳票と申請内容が含まれている申請ファイル（.xml）をご提出頂きます。

申請ファイル（.xml）名規則



ERI 受付番号（8）
〈 固定 〉
※受付番号未入力の場合、物件名

BELS 申請符号（4（変更時は 6））
〈 可変 〉

※（ ）内は桁数

例＞ 受付番号:16005516

通常時 :16005516BELS.xml
変更時 :16005516BELSH1.xml

１.２ 必要システムとセットアップを始める前のご注意

このシステムは、ハードディスクにインストールして運用します。

必要システム

OS	Microsoft Windows 10
	Microsoft Windows 11
コンピュータ本体とメモリ	お使いの OS が推奨する環境以上
ディスプレイ	1024×768 ピクセル以上　　High Color 以上を推奨
ハードディスク	インストール時に 525MB以上の空き容量が必要 ※Microsoft .NET Framework 4.0 がインストールされている場合は、25 MBの空き容量となります。
必須コンポーネント	Microsoft .NET Framework 4.0
必要ソフトウェア	PDF ファイルビューアー

セットアップを始める前のご注意

◆Windows 10、11 にてご使用の場合

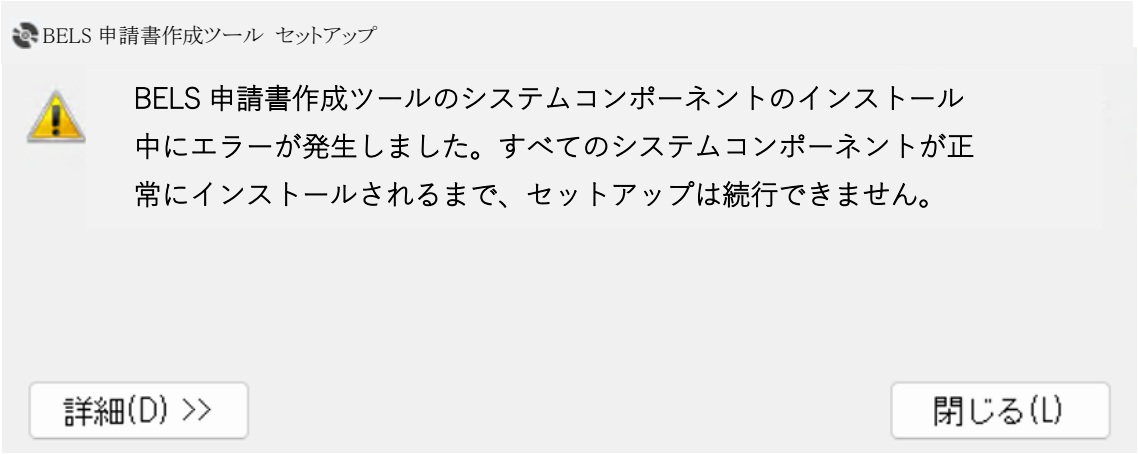
ソフトウェアのインストール／削除を行う場合は、「管理者」ユーザーでログオンしている状態で作業を行って下さい。

(「管理者」以外のユーザーでログオンしている場合は、「管理者」ユーザーのパスワードを入力する必要があります。)

ソフトウェアの利用は、「管理者」以外のユーザーでも使用できます。

◆日本 ERI 申請書作成ツールの手動アンインストールのお願い

※PC に従来の未署名版の「日本 ERI 申請書作成ツール」がインストールされている状態で、署名された「日本 ERI 申請書作成ツール」を組み込んだ「BELS 申請書作成ツール」をインストールしようとすると、以下のようなセットアップエラーになります。



この場合、インストールするためには事前に未署名版の「日本 ERI 申請書作成ツール」を手動でアンインストールしていただく必要があります。

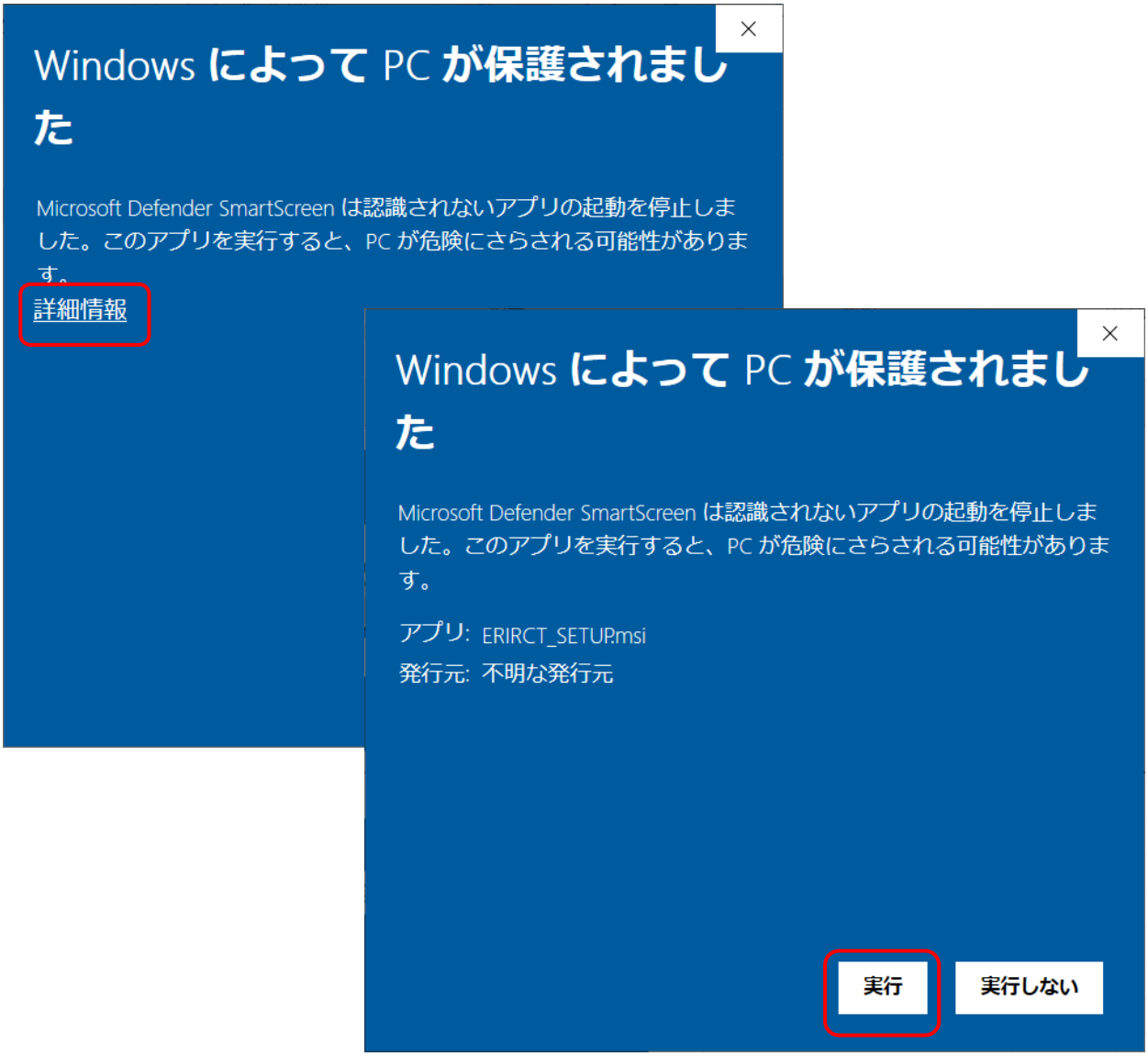
※「BELS 申請書作成ツール」本体のアンインストールは不要です。

設定のアプリから「インストールされているアプリ」画面を表示します。

以下の「日本 ERI 申請書作成ツール」を選択して「アンインストール」をクリックします。



※PC のセキュリティが強化されていると下記メッセージが表示されることがあります。

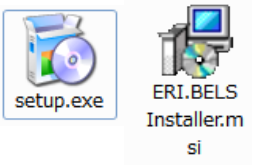


「詳細情報」をクリックし「実行」ボタンをクリックすると先に進むことが可能となります。

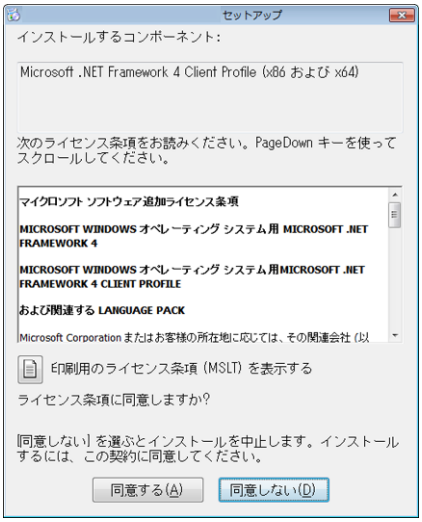
1 .3 プログラムのセットアップ方法、起動方法、プログラムの削除

プログラムのセットアップ方法

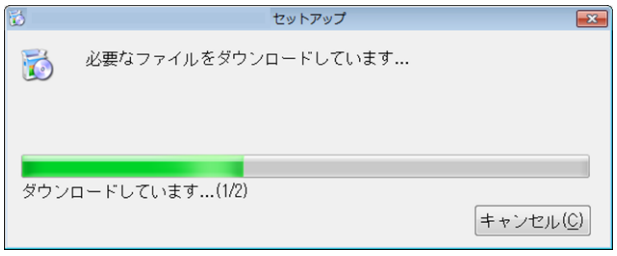
1） Setup.exe を開きセットアップを実行します

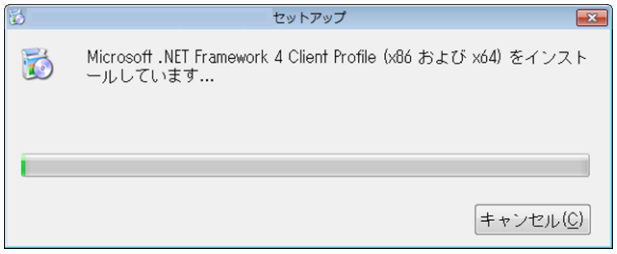


2） ご利用のシステムに .NET Framework バージョン 4.0 以上がインストールされていない場合は、以下の画面が表示されます。表示された場合は、こちらを先にインストールして下さい。

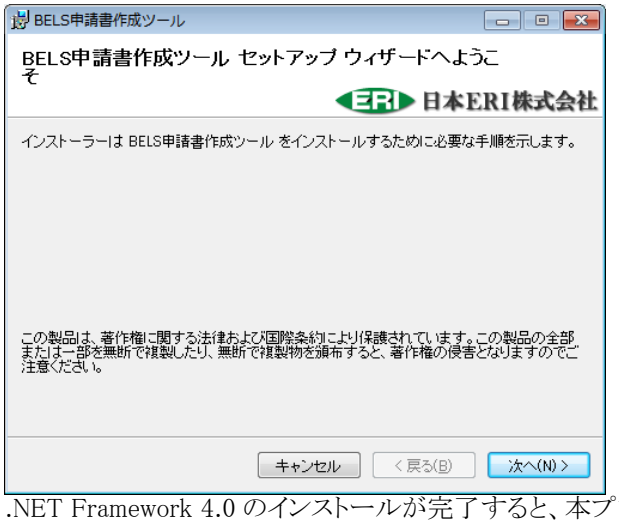


同意する(A)をクリックして、次に進みます。

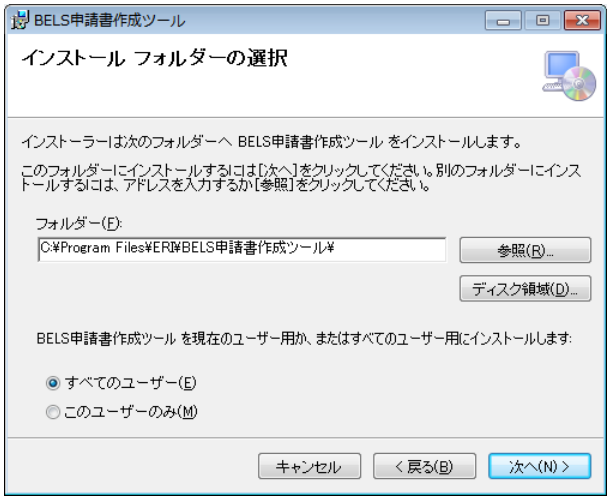




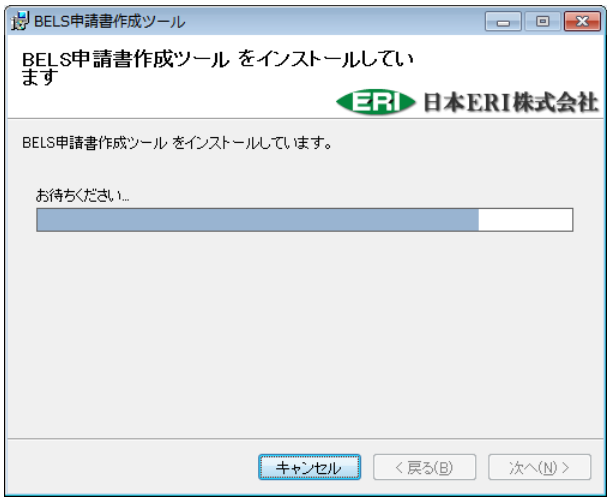
（インストールが終了するまで数分～数 10 分間要します。しばらくお待ち下さい。）



.NET Framework 4.0 のインストールが完了すると、本プログラムのインストールを開始します。



次へ(N)ボタンをクリックして、次に進みます。



インストール処理が行われていますので、しばらくお待ちください。



以上でインストールが完了しました。閉じる(C)ボタンをクリックして終了となります。

プログラムの起動方法

日本 ERI 申請書作成ツールから起動します。

・デスクトップ上のショートカットアイコン



・Windows の「スタート」メニュー

→「すべてのプログラム」

→「日本 ERI 申請書作成ツール」

→「日本 ERI 申請書作成ツール」



日本 ERI 申請書作成ツールの「BELS 申請書作成ツール(戸建住宅)」をクリックします。

プログラムの削除

以下の手順で本ソフトウェアを削除して下さい。

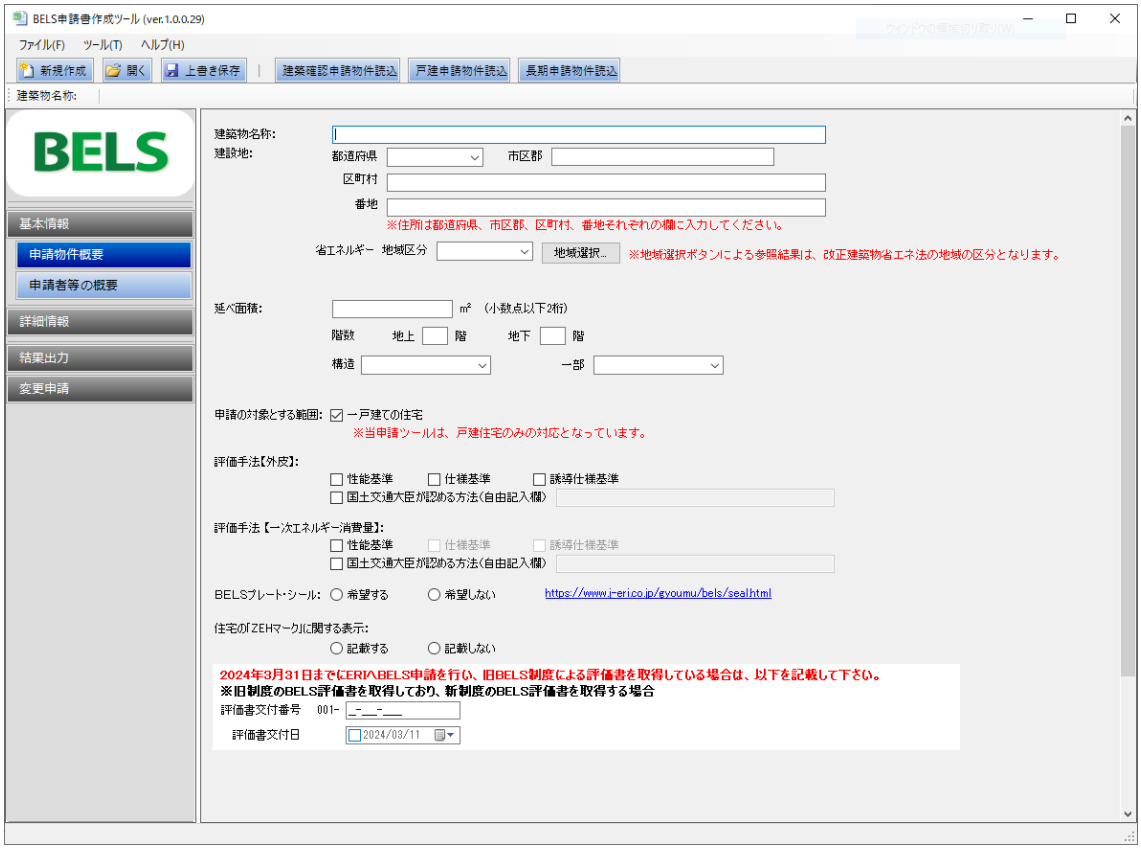
Windows のスタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - 「プログラムと機能」を選択します。

「BELS 申請書作成ツール」を選択してから、アンインストールをクリックすると削除プログラムが実行されます。

Windows 10、11 では「管理者」又は「標準ユーザー」でログオンしている状態で作業を行って下さい。
(「管理者」以外のユーザーの場合は、管理者のユーザー名とパスワードの入力が必要になります。)

1.4 初期画面（起動画面）

当申請書作成ツールの起動初期画面です。



この画面から、申請する物件の建築物名称、建設地、地域区分、延べ面積、階数、構造、評価手法、BELS プレート・シールの希望する・しない、「ZEH マーク」「ゼロエネ相当」に関する記載する・しない　を入力して進めます。

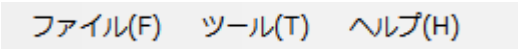
申請物件の建築物名称、建設地等の情報を変更する場合は、一度この画面に戻ってから変更します。

タイトルバー



本プログラムの名称とバージョンが表示されます。

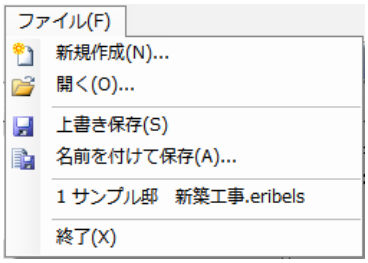
メニューバー



各項目をクリックすると、以下のドロップダウンメニューが表示されます。

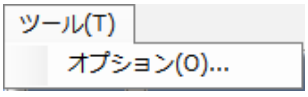
メニューは状況に応じて使用可能/不可能が変化し、対応するツールバー上のボタンと連動しています。

ファイルメニュー



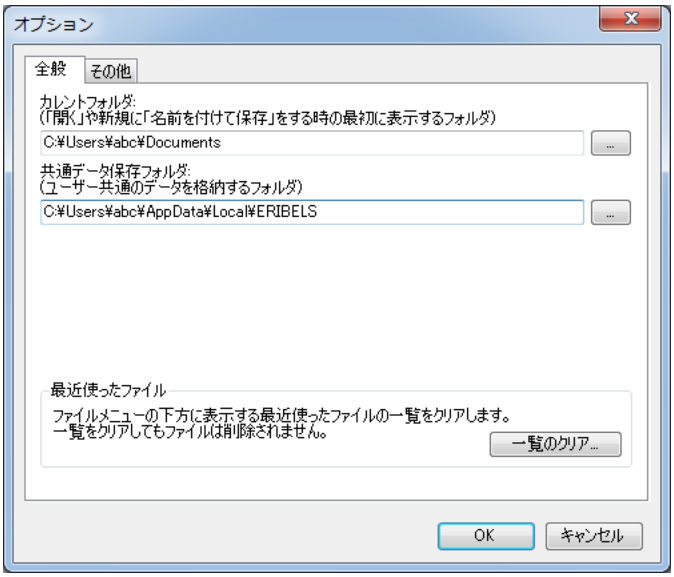
項目	説明
「新規作成」	新規に物件データを作成します。
「開く」	既存の物件データファイルを開きます。
「上書き保存」	保存済物件の場合、物件データファイルを上書き保存します。
「名前を付けて保存」	保存先を選択しファイル名を付け物件ファイルを保存します。
「終了」	このプログラムを終了します。

ツールメニュー



項目	説明
オプション	カレントフォルダ、共通データ保存フォルダ（申請者等マスター情報）の設定、最近使った物件ファイルの一覧からのクリア、提出先評価機関情報の設定を行います。

オプション



保存先のデフォルトは、インストールしたパソコンに保存されています。

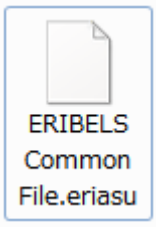
保存先を共有サーバー等に保存して共有することも可能です。この場合、個々に保存先の設定が必要となります。

マスター情報の共有について

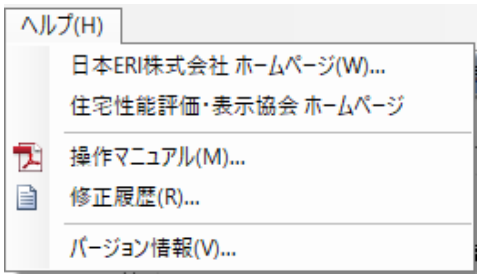
「ERIBELS Common File.eriasu」ファイル（申請者等マスター管理ファイル）を移動することにより情報を別 PC と共有することが可能となります。

デフォルトの保存先:

C:¥Users¥<利用ユーザー>¥AppData¥Local¥ERIBELS

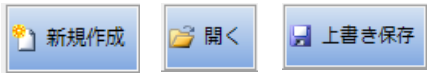


ヘルプメニュー



項目	説明
「操作マニュアル」	操作マニュアル PDF を表示します。
「修正履歴」	修正履歴内容を表示します。
「バージョン情報」	本プログラムのバージョン情報を表示します。

ツールボタン



項目	説明
新規作成	([ファイル(F)]-[新規作成(N)...]メニュー)
開く	([ファイル(F)]-[開く(O)...]メニュー)
上書き保存	([ファイル(F)]-[上書き保存(S)]メニュー)

※カッコ内は対応するメニューの名前です。

物件データファイルについて

本プログラムで扱う物件ファイルは以下のものがあります。

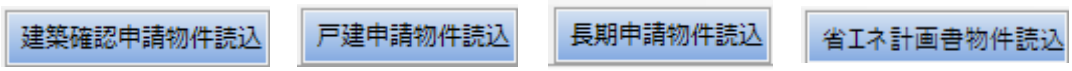
物件データファイルは、本プログラムで独自に取り扱うファイルとして拡張子に「.eribels」が付きます。



日本 ERI に申請頂く際の申請ファイルには、拡張子「.xml」が付きます。



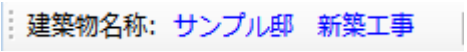
他申請ツールデータ読込ボタン



項目	説明
建築確認申請物件読込	建築確認申請書作成ツールで作成した申請用ファイル(.erirct)を読み込みます。読み込むファイル(.erirct)を指定します。
戸建申請物件読込	住宅性能評価申請書作成ツール(戸建住宅等)で作成した設計評価申請用ファイル(EA○○○SK.xml)を読み込みます。読み込むファイル(.xml)を指定します。
長期申請物件読込	住宅性能評価申請書作成ツール(戸建住宅等)で作成した長期申請用ファイル(EA○○○LQ.xml)を読み込みます。読み込むファイル(.xml)を指定します。
省エネ計画書物件読込	省エネ計画書作成ツールで作成した申請用ファイル(.eriene)を読み込みます。読み込むファイル(.eriene)を指定します。

弊社より別途ご提供している、建築確認申請書作成ツール、住宅性能評価申請書作成ツール(戸建住宅等)にて、申請物件の情報を作成した内容を当ツールに反映することが可能です。
弊社へ申請時にご提示頂く各申請ファイルを読み込み、情報を反映します。
反映情報については項目により部分的な情報もあるため、追記等が必要な項目があります。

処理中物件情報の表示

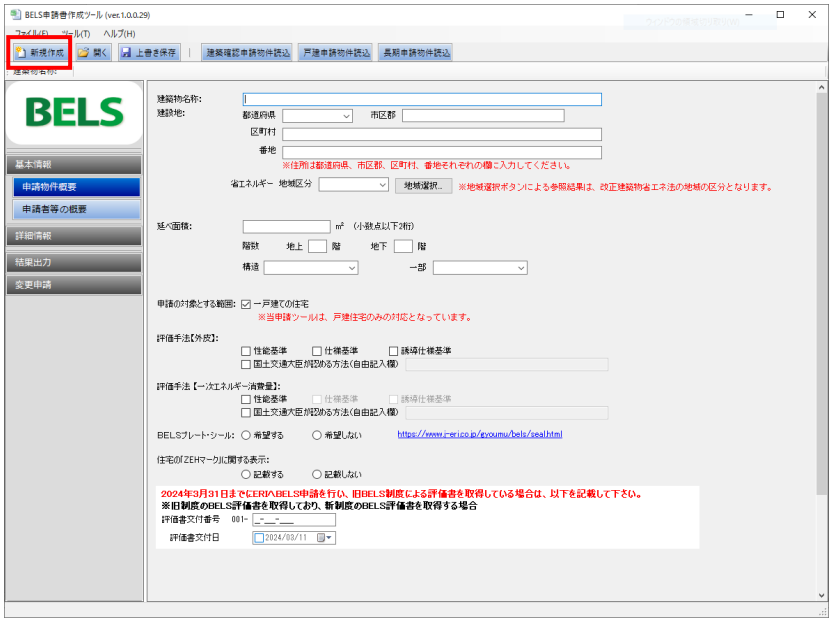


項目	説明
建築物名称	建築物名称を表示します。

1 .5 新規物件ファイルの作成と保存方法、物件ファイルの転用利用方法

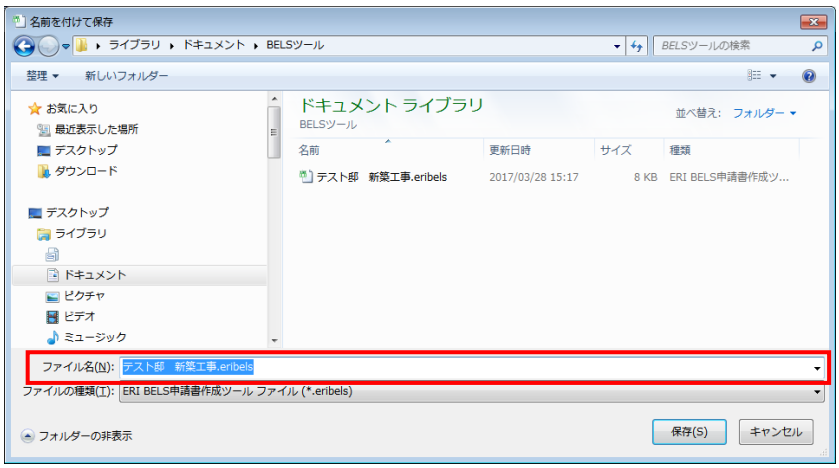
新規物件ファイルの作成方法

ファイルメニュー内の「新規作成」、ツールボタンの「新規作成」のクリックにより、建築物名称等を入力して物件の情報を作成します。



物件ファイルの保存方法

ファイルメニュー内の「名前を付けて保存」、ファイルを保存していない場合には「上書き保存」、またはツールボタンの「上書き保存」のクリックにより、保存メニューが表示されます。



保存時のファイル名のデフォルトは、建築物名称となります。

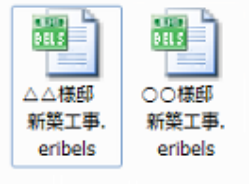
物件ファイルの転用利用方法

入力済の物件ファイルを利用して、別物件として物件ファイルを転用利用することが可能です。

・Windows のエクスプローラーより物件ファイルをコピーして、ファイル名の変更をして対応する方法



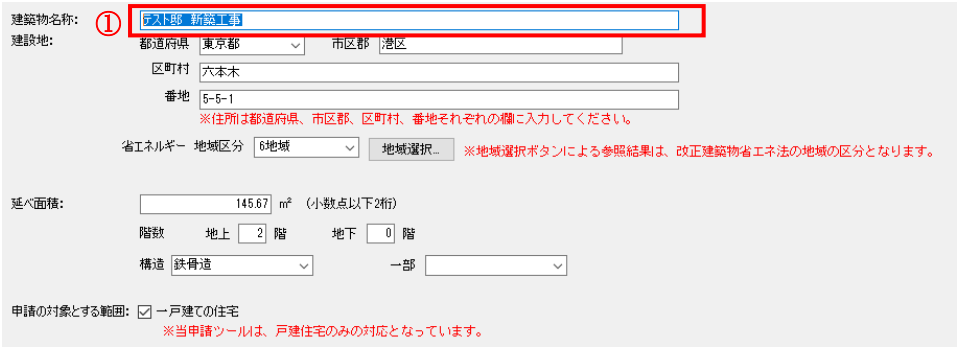




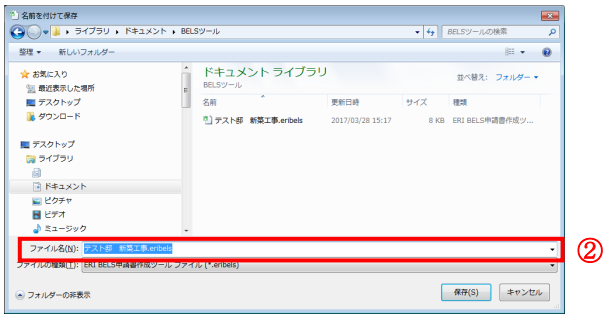
ファイル名を変更した物件ファイルを開き、物件情報の建築物名称を変更します。

・申請ツールの「開く」より入力済物件ファイルを開き、建築物名称を変更して対応する方法

入力済物件ファイルを開き、物件情報の建築物名称を変更します。

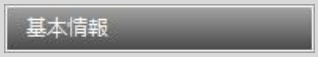
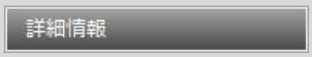
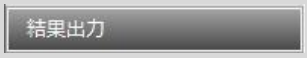
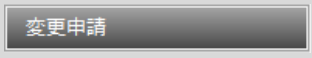


ファイルメニューの「名前を付けて保存」をクリックし、ファイル名が変更した建築物名称に変わっている事を確認して、保存ボタンをクリックします。



1.6 情報別表示ボタン

情報別表示ボタン

項目	説明
	申請物件の概要、申請者等の概要画面の各表示に遷移するボタンを表示します。
	申請書、設計内容説明書、掲載承諾書、ZEH・ゼロエネ相当計算書(ZEH・ゼロエネ相当:記載する選択時)の各画面表示に遷移するボタンを表示します。
	PDF 出力、申請ファイル作成の各画面表示に遷移するボタンを表示します。
	変更申請処理を行う場合の、変更申請の開始画面を表示します。

1.7 基本情報

基本情報ボタン

項目	説明
申請物件概要	申請物件概要画面を表示します。 申請物件の建築物名称、建設地等の情報を入力・変更します。
申請者等の概要	申請者の概要画面を表示します。申請者、代理者、建築主等、設計者等、工事施工者の代表者と代表以外（代理者は除く）の各入力画面が表示されます。

1.8 申請物件概要 画面



申請する建築物に関する事項について入力します。

項目	説明
建築物名称	建築物名称を入力します。
建設地	建築地を入力します。(都道府県はプルダウンより選択可能です)
省エネルギー地域区分	建築地の地域区分を選択します。地域選択ボタンより、建設地の市区町村情報からの地域区分の検索が可能です。
延べ面積	建築物の延べ床面積を入力します。(小数点以下 2 桁)
階数	建築物の地上、地下階数を入力します。
構造	建築物の構造をプルダウンより選択又は入力します。
申請の対象とする範囲	申請建築物の申請範囲を選択します。(現在一戸建ての住宅のみ対応)
評価手法	外皮、一次エネルギー消費量の内容を選択します。
BELS プレート・シール	BELS プレート、シールの希望を選択します。
住宅の「ZEH マーク」、「ゼロエネ相当」に関する表示	ZEH マーク・ゼロエネ相当に関する記載をする又はしないを選択します。『ZEH』、Nearly ZEH、ZEH Oriented、ゼロエネ相当のいずれかを選択します。

建築物名称については、物件ファイルの名前を付けて保存する際のデフォルト値として用いられます。

1.9 申請者等の概要　画面



申請者等の概要について入力します。代表者以外の「申請者」「建築主等」「設計者等」「工事施工者」は、申請者や建築主等が複数の場合に入力します。それぞれ4名まで記入することができます。

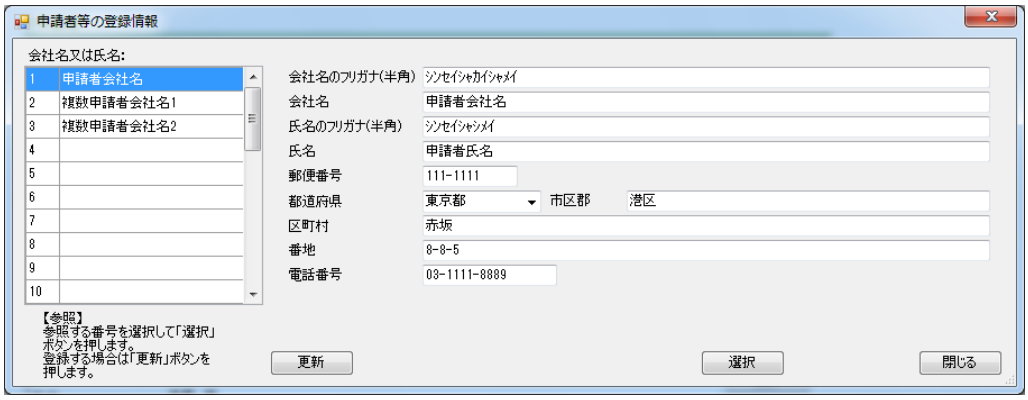
この内容は、申請書第二面（別紙1）～（別紙5）として印刷されます。

１.10 申請者等の概要画面ボタン、申請者等マスター情報

申請者等の概要画面ボタン

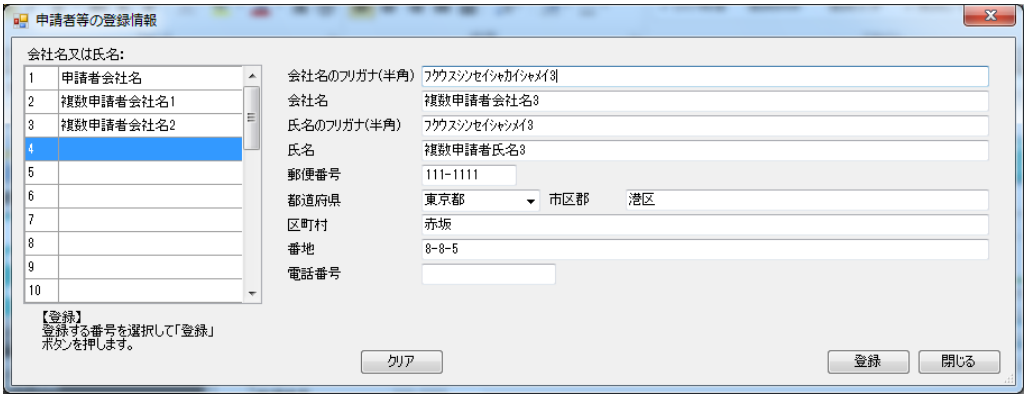
項目	説明
参照	登録した申請者等のマスター情報から引用反映します。
登録	現在入力されている情報をマスターに保存します。
クリア	現在入力されている情報を破棄し、各項目を空白にします。
申請者を建築主等にコピー	現在入力されている申請者情報を建築主等項目にコピーします。
代理者を設計者等にコピー	現在入力されている代理者情報を設計者等項目にコピーします。
代表の申請者の住所をコピー	代表の申請者に入力されている住所のみを、代表以外の申請者にコピーします。
代表の建築主の住所をコピー	代表の建築主に入力されている住所のみを、代表以外の建築主にコピーします。
代表の設計者の住所をコピー	代表の設計者に入力されている住所のみを、代表以外の設計者にコピーします。
選択	登録済みの情報を選択反映します。

申請者等マスター情報参照画面



「会社名又は氏名」項目より参照元を選択して、「選択」ボタンを押して反映します。

申請者等マスター情報登録画面



入力されている各情報をマスターとして登録します。

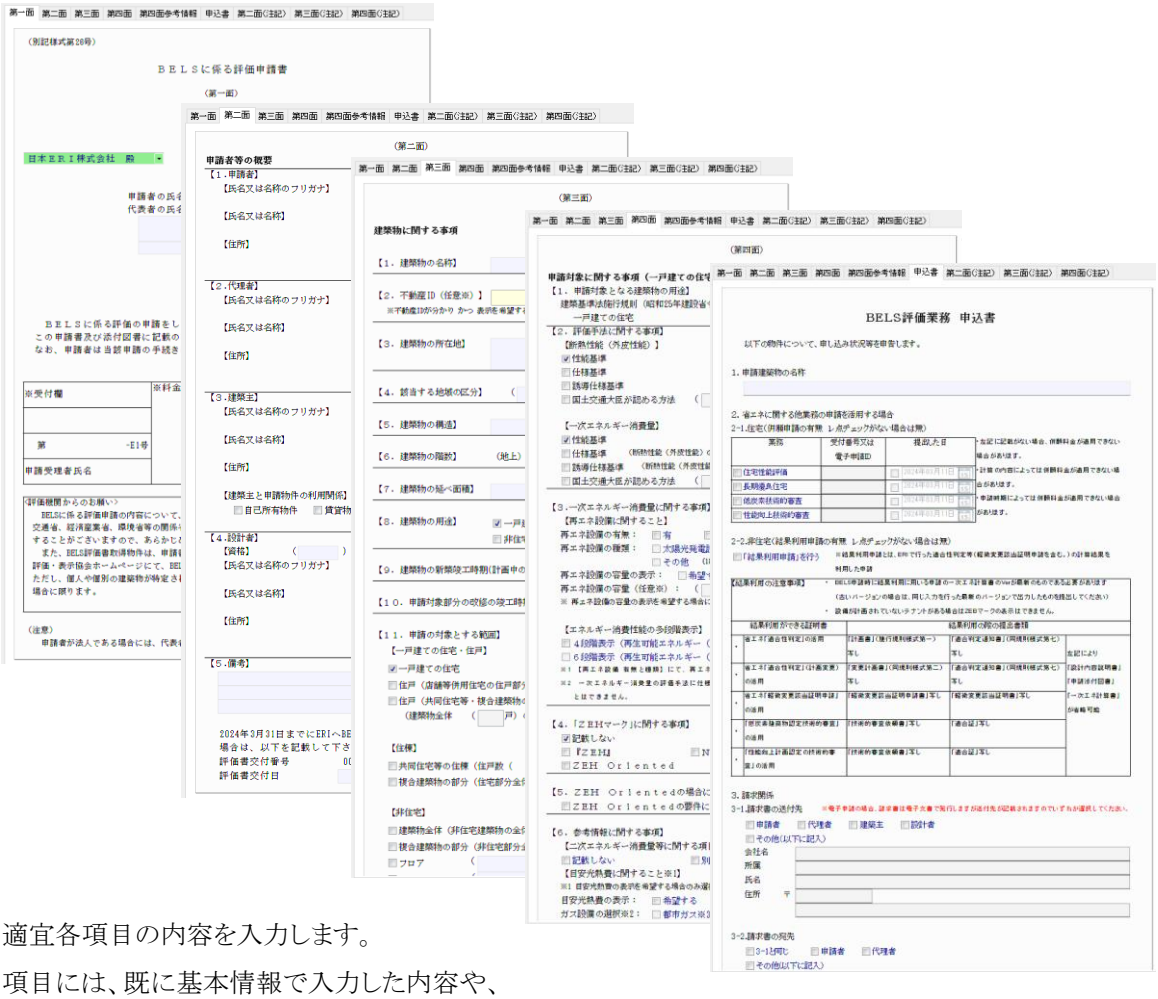
申請者、代理者、建築主、設計者、それぞれ最大 30 件までの情報を登録できます。

1.11 詳細情報

詳細情報ボタン

項目	説明
申請書	申請書画面を表示します。第一面から第四面までと、参考情報、プレート等申込書の各タブに表示します。
設計内容説明書	設計内容説明書の画面を表示します。各面設計内容の情報を入力します。
掲載承諾書	掲載承諾書の画面を表示します。第一面、第二面の情報を入力します。

申請書



適宜各項目の内容を入力します。

項目には、既に基本情報で入力した内容や、

計算結果が表示される箇所があります。

日付の入力について



日付項目の入力は、チェックをすると当日がデフォルトで反映されます。カレンダーからの日付選択も可能です。

申請日等を手書きで対応する場合には、チェックはせずに出力すると「年　月　日」のみが明示されます。

設計内容説明書



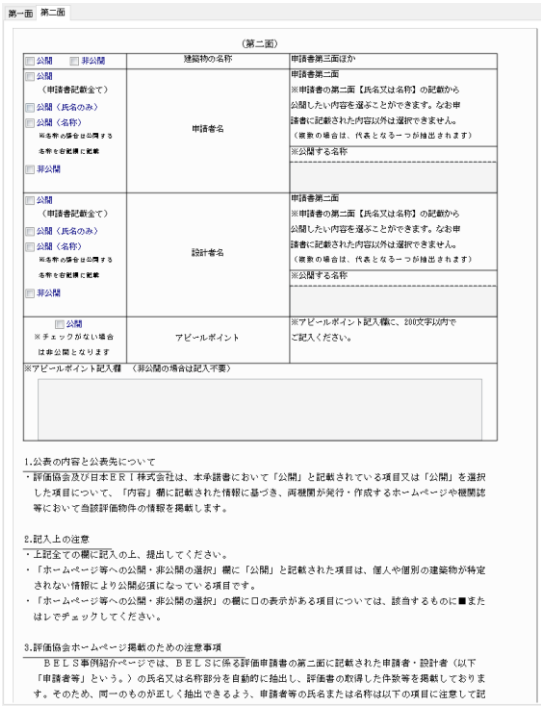


各項目の設計内容を入力します。

項目には、計算結果が表示される箇所があります。

掲載承諾書





掲載承諾書の各項目を入力します。

現在のページを PDF 出力、画面表示

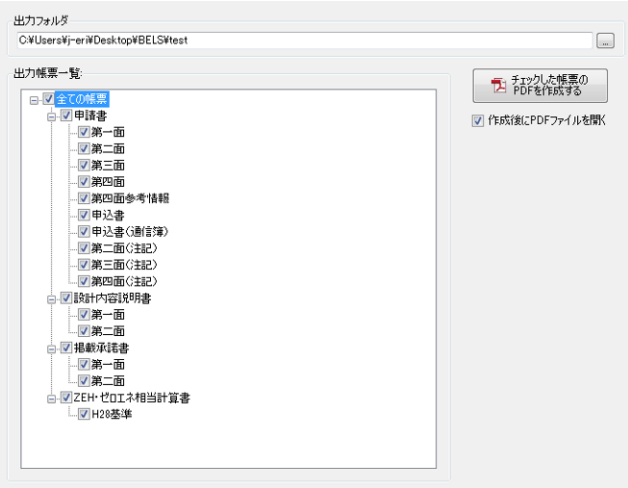
項目	説明
現在のページをPDF出力	現在表示している画面（帳票）の PDF ファイル出力を行います。名前を付けて保存画面が表示されますので、保存先、ファイル名を設定し保存します。
拡大率: 100%	現在表示している画面（帳票）の画面表示サイズを変更します。拡大率％の設定または、＋・－（虫めがね）ボタンで表示サイズを変更します。
申請者を転記	掲載承諾書（第一面）のみ表示されます。 申請者の住所と氏名又は名称に、申請書（第二面）の申請者が転記されます。
代理者を転記	掲載承諾書（第一面）のみ表示されます。 申請者の住所と氏名又は名称に、申請書（第二面）の代理者が転記されます。

1.12 結果出力

結果出力ボタン

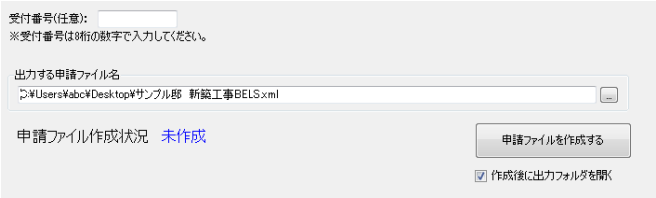
項目	説明
PDF出力	画面にて選択された対象帳票の PDF ファイルを作成します。「チェックした帳票の PDF を作成する」ボタンで出力します。
申請ファイル作成	日本 ERI に申請頂く際の申請用ファイル（XML ファイル）を作成します。「申請ファイルを作成する」ボタンで出力します。

PDF 出力



項目	説明
チェックした帳票の PDFを作成する	出力帳票一覧で選択した帳票を PDF 出力します。 “作成後に PDF ファイルを開く”にチェックを入れると、作成後 PDF ビューアにて表示されます。

申請ファイル作成



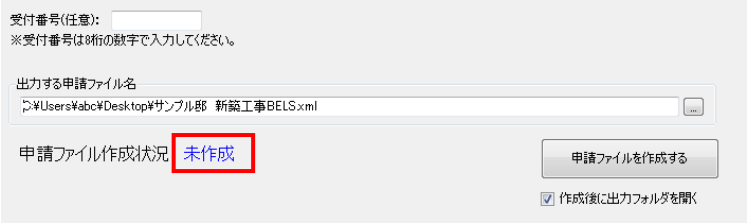
項目	説明
受付番号	当社より伝達している受付番号(8 桁の数字)を入力します。 当受付番号は、申請ファイル名称に利用されます。
出力する申請ファイル名	申請ファイルの保存先及びファイル名を指示します。 ファイル名については申請種類を把握する符号(BELS)がデフォルトで付きます。 受付番号の入力がある場合には、受付番号+符号(BELS)となります。 例:『16000099BELS.xml』 受付番号の入力が無い場合には、物件名+符号(BELS)がデフォルトとなります。例:『テスト戸建物件 BELS.xml』

項目	説明
申請ファイルを作成する	当社へ申請時にご提出頂く申請ファイルを出力します。 “作成後に出力フォルダを開く”にチェックが入っている場合には、出力指定時のフォルダが表示されます。

2.1 変更申請

変更申請については、元の申請で「申請ファイル出力」が行われたものに対して変更申請処理が可能となります。

申請ファイル作成状況



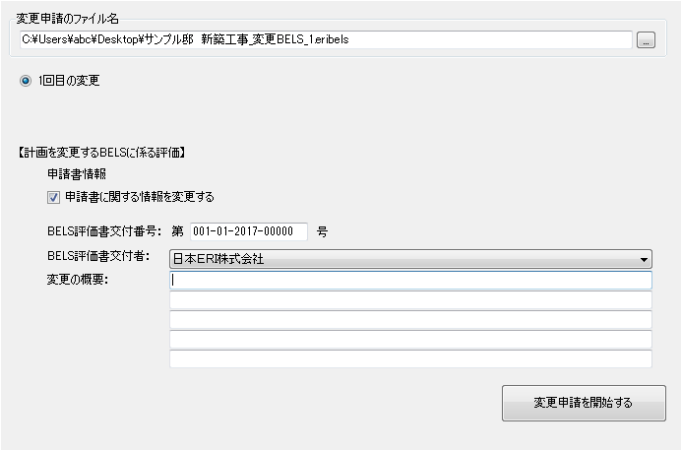
申請ファイル作成画面の作成状況が、「未作成」の場合は変更申請の処理は不可となります。



申請ファイル作成画面の作成状況が、「作成済み」の場合のみ変更申請の処理が可能となります。

2.2 変更申請

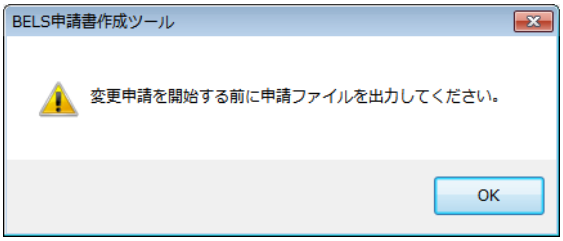
変更申請で申請する情報や、変更しようとする評価書情報、変更の概要を入力します。



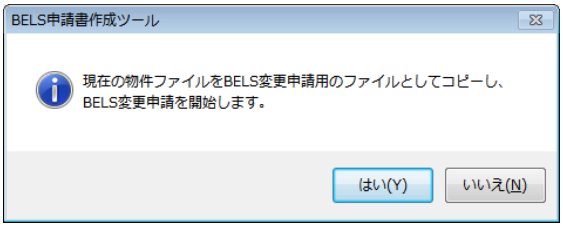
項目	説明
変更申請のファイル名	元の申請物件ファイルが変更されることを防止するため、元の物件ファイル名に“_変更_BELS_1”がデフォルトで付きます。

項目	説明
変更申請を開始する	変更する内容を確定して変更申請の処理を開始します。

申請ファイル出力が行われていない場合には注意のメッセージが表示されます。



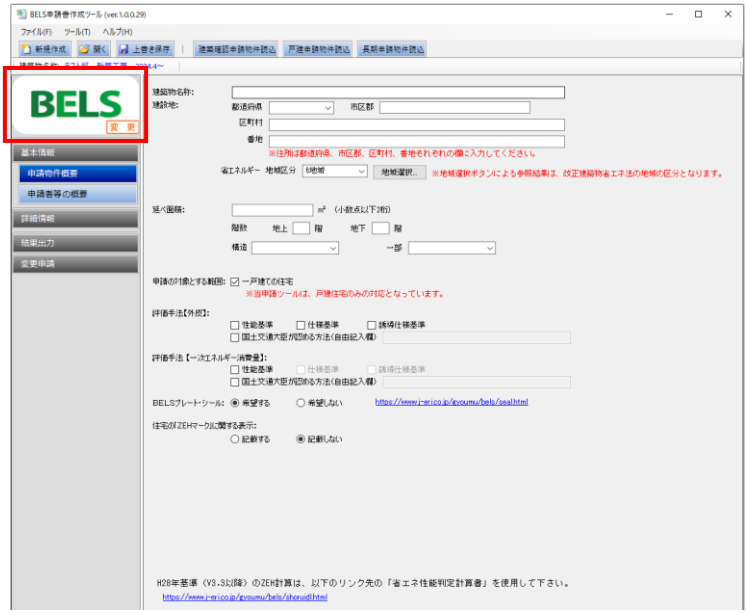
申請ファイル出力が行われている場合には確認のメッセージが表示されます。



はい(Y)ボタンをクリックすると、変更申請のファイル名で保存されます。

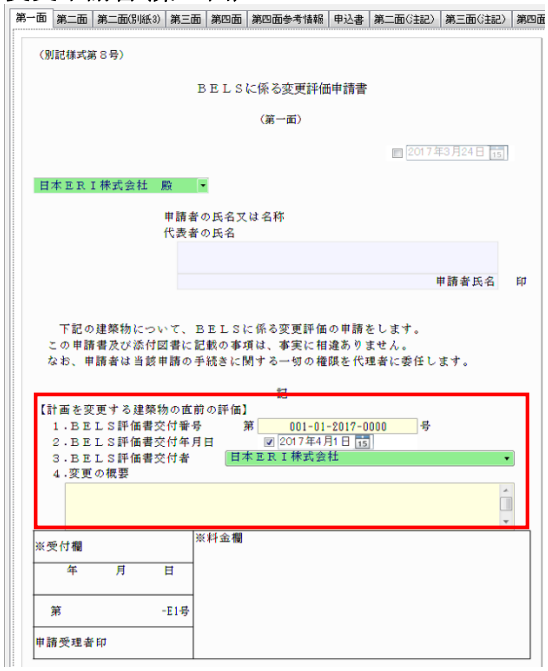
ここで保存されたファイルの内容は、元の申請内容を変更申請向けとしてコピーされたものとなります。

変更物件情報



変更申請の表示に切替わり、変更申請の物件処理中を示します。

変更申請書（第一面）



詳細情報の変更設計申請書第一面にある、変更設計申請に必要な情報を入力します。

変更項目入力後は、結果出力のPDF出力及び、申請ファイル作成より申請用ファイルを作成し、申請を行います。

変更の２回目以降の申請については、変更申請向けに作成された変更用申請物件ファイルを利用します。

BELS 申請書作成ツール　1.0

操作マニュアル

2026 年 8 月作成

制作者　　日本 ERI 株式会社

〒107-0052　東京都港区赤坂 8-10-24

住友不動産青山ビル南館

Tel. 03-3796-0223

Fax. 03-5775-1841

ホームページ URL http://www.j-eri.co.jp/

Copyright(C) 2016-　JAPAN ERI CO.,LTD.

(1)　本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

(2)　このソフトウェアの仕様は、将来予告なしに変更することがあります。

(3)　製品の内容については万全を期していますが、ご不審な点や誤り、マニュアルの記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社までご連絡下さい。

MS-Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。

その他、会社名、製品名は、一般に各社の登録商標、商標です。